

横浜市地球温暖化対策計画書制度 報告書等作成マニュアル

【1.2号該当事業者用】

横浜市脱炭素 GREEN×EXPO 推進局脱炭素マネジメント課

目次

第1章 作成の概要.....	1
1.1 作成する書類.....	1
1.2 作成の流れ.....	2
1.3 各シートの説明	3
第2章 根拠算定資料の作成.....	4
2.1 昨年度情報の呼び出し.....	4
2.2 基礎情報の入力.....	6
2.3 エネルギー使用量の入力.....	8
第3章 報告書の作成	24
第4章 提出書の作成.....	40
第5章 評価の確認.....	40
第6章 作成したデータ等の提出	42

第1章 作成の概要

このマニュアルでは、地球温暖化対策計画書(計画書)、実施状況報告書(報告書)等の作成方法、提出方法を御紹介いたします。計画書や報告書の提出は、条例※に定められた義務です。期日(7月末)までの作成、提出をお願いいたします。

※横浜市生活環境の保全等に関する条例

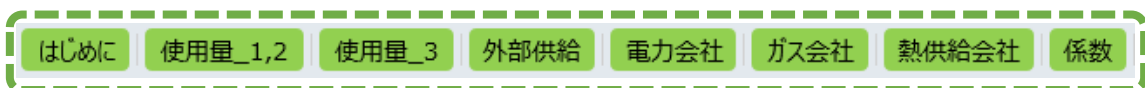
1.1 作成する書類

■ 提出様式(「2026hokoku_youshiki.xlsx」)

■ シートの構成

根拠算定資料

※『使用量_3』シートは使用しません。



報告書(2025～2027年度の実績報告用)

※『報4-2(3号事業者用)』シートは使用しません。(第1,2号該当のみの事業者)



『報6』シートより右側のシートは記入不要です。



各シートの記入が完了すると入力された内容を反映した提出書と2025年度に提出した計画書の内容に基づく評価結果が表示されます。

1.2 作成の流れ

提出様式をダウンロードする。

根拠算定資料 を作成





排出量等の算定根拠を作成するため、
事業所別にエネルギー使用状況等を記入する。

報告書 を作成

報告書に自動で数値が反映



根拠算定資料から反映された値・内容を確認しながら、
状況・説明等を記入する。

■ 様式への入力ルール(セルの色分け)

	(黄色)	記入してください
	(白色)	昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定) セルに保護をかけているため書き換えはできません
	(緑色)	昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定) 変更がある場合は上書き修正してください
	(灰色)	記入対象外です

【注 意】

緑色のセルには参照式が入っています。
一度、新しい値を入力すると参照式は消え、
新しく入力した値に置き換わります。
入力値を消しても、前の値(参照式)には戻りません。

自動計算等を行う際に支障を来してしまうため、 (黄色)セル及び  (緑色)セルに数値等を入力する際は、絶対に切り取り操作(CTRL+X)は行わないようお願いします

1.3 各シートの説明

シート名	シートの概要
はじめに	事業者IDを入れ、過年度提出データを様式に表示させます
使用量 1,2	エネルギー使用量を入力して、CO2排出量、エネルギー消費原単位を算定します
外部供給	他者へのエネルギー供給が有る場合のみ 入力が必要です
電力会社	小売電気事業者を検索して、排出係数を調べます(入力不要)
ガス会社	ガス供給事業者を検索して、排出係数を調べます(入力不要)
熱供給会社	熱供給事業者を検索して、排出係数を調べます(入力不要)
係数	燃料などの排出係数等を変更する場合のみ 使用します

シート名	項目
報1	1 地球温暖化対策事業者等の概要 2 計画期間及び実施年度 3 公表の方法
報2	4の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況
報3	5 クレジット等に関する取組状況 6 再生可能エネルギー利用設備の稼働状況 7 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の導入状況
報4の1	8の1 基本対策の実施状況 8の2 重点対策の実施状況
報5	9 地球温暖化を防止する対策の取組事例 10 特記事項
報6	1 事業所等の概要 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

第2章 根拠算定資料の作成

2.1 昨年度情報の呼び出し

『はじめに』シート

横浜市地球温暖化対策計画書制度 提出様式	
2026 年度報告用(2025年4月～2026年3月の実績)	
<昨年度情報の呼び出し> ・あらかじめ割り振られた事業者IDの下3桁を入力してください。 (入力することで、昨年度に提出頂いたデータが記入様式に反映され、入力項目が削減します。)	
事業者ID下3桁	999 ①
事業者名称	株式会社 横浜 ※昨年度報告の事業者名称が表示されます。
過去データ修正有無	修正ありません ②
事業者の状況変更	変更ありません ③

過去データ修正有無で「昨年度報告に修正があります」を選択した場合

過去データ修正有無	昨年度報告に修正があります ▼	※昨年度報告に修正がある場合には、記入を進めず、まず、市にご連絡下さい。
-----------	-----------------	--------------------------------------

事業者の状況変更で「事業者名称等に変更がありました」を選択した場合

※事業者名、代表者名、所在地の変更があった場合に選択してください。

事業者の状況変更	事業者名称等に変更がありました ③-1
緑色のセルで変更があった項目を修正して下さい	新事業者名称 株式会社 横浜 新代表者氏名 代表取締役社長 横浜 太郎 新所在地 神奈川県横浜市〇〇区××町■-△

【注意】

事業所名称、代表者指名、所在地のいずれかの項目のみを修正する場合であっても、修正のない項目も含め全ての項目の入力が必要です。

2.1 昨年度情報の呼び出し

『はじめに』シート

① 事業者 ID 下3桁

黄色セルに事業者 ID 下 3 桁を入力してください。

昨年度報告データが報告書等に緑色で表示され、入力が不要なセルは灰色で表示されます。

事業者 ID は右下のリストから選択して下さい。

② 過去データ修正有無

初期値として「修正ありません」が表示されます。

修正が必要な場合は「昨年度報告に修正があります」を選択して下さい。

※昨年度報告に修正がある場合は作成を中断し、市にご連絡ください。

③ 事業者の状況変更

初期値として「変更ありません」が表示されます。

「事業者名称等に変更がありました」を選択すると、新名称等の入力欄が表示されます。

※「旧事業者は消滅しました」及び「横浜市内から撤退しました」を選択した場合は、作業を中断し、市にご連絡ください。

③-1 表示された入力欄に全ての項目を入力してください。

事業者名称、代表者氏名、所在地のいずれかの項目のみを修正する場合でも、修正のない項目含め全ての項目の入力が必要です。

2.2 基礎情報の入力

『使用量 1,2』シート

1 基礎情報

二酸化炭素排出量算定表(1号、2号用)エネルギー使用量入力表		20
1 基礎情報		
(1) 他者へのエネルギー供給(販売)が有る場合は、「無し」⇒「有り」に変更してください。		
<input type="checkbox"/> 無し	①	
(2) エネルギーの集計対象となる横浜市内の事業所等の数を入力してください。		
エネルギー集計対象の事業所数	10	
うち、原油換算エネルギー使用量が500kI以上の事業所数	8	500kI未満の事業所数 2
(3) 総括票の原単位設定		
<input checked="" type="radio"/> 事業者全体で統一の原単位を使用する	③	
<input type="radio"/> 原単位の寄与度の合計から求める		
(4) 横浜市内で保有している自動車が無い場合は、「有り」⇒「無し」に変更してください。		
<input type="checkbox"/> 有り	④	
2 エネルギー使用量		

計画作
成済
し
て
い
る

1 基礎情報

① 他者へのエネルギー供給(販売)

初期値として「無し」が表示されます。

他者へのエネルギー供給(販売)がある場合は、「有り」を選択してください。

「有り」を選択した場合は、『外部供給』シートの入力が必要です。

⇒本マニュアル 18、19 ページ参照

<「有り」を選択した場合の注意事項>

この項目は、熱供給事業法上の**熱供給事業者**(※)に該当し、熱供給事業を行う事業所として登録を受けている工場等または、電気事業法上の**発電事業者**(※)に該当し、発電事業を行う事業所として届け出ている工場等のみが対象となります。

上記以外の事業者は、「無し」としてください。

※**熱供給事業者**：熱供給事業法第2条第3項に規定する熱供給事業者

発電事業者：電気事業法第2条第1項第15号に規定する発電事業者

② エネルギーの集計対象となる横浜市内の事業所等の数

事業所数は、昨年度情報が自動表示されます。

変更がある場合は上書き修正してください。

③ 総括票の原単位設定

エネルギー消費原単位の設定について、以下のいずれかを選択してください。

- ・事業者全体で統一の原単位を使用する。
- ・原単位の寄与度の合計から求める。

選択する項目は過年度に提出した計画書の内容と一致させてください。

④ 横浜市内で保有している自動車の有無

初期値として「有り」が表示されます。

横浜市内で保有している自動車がない場合は、「無し」を選択してください。

2025年度の報告書より新たに追加された項目

- 横浜市内で保有している自動車の有無

2.3 エネルギー使用量の入力

『使用量 1,2』シート

2 エネルギー使用量(化石燃料、非化石燃料)

2 エネルギー使用量										1	2	3	4	5	
エネルギーの種類										横浜市内 合計		原油換算500kl未満の事業所 エネルギー使用量合計 (※等年度の合計から求める場合は、 原単位の種別順に列を変えてエネル ギー使用量合計を入力してください。)		原油換算500kl以上の 事業所名を 入力?	
										↓自動計算					
29	原油(コンデンセートを除く。)									kl	0				
30	原油のうちコンデンセート(NGL)									kl	0				
31	揮発油(ガソリン)									kl	0				
32	ナフサ									kl	0				
33	ジェット燃料油									kl	0				
34	灯油									kl	0				
35	軽油									kl	0				
36	A重油									kl	0				
37	B・C重油									kl	0				
38	石油アスファルト									t	0				
39	石油コークス									t	0				
40	石油ガス	液化石油ガス(LPG)								t	0				
41	石油系炭化水素ガス									千m ³	0				
42	可燃性液化天然ガス(LNG)									t	0				
43	天然ガス	その他可燃性天然ガス								千m ³	0				
44	石炭	輸入原料炭								t	0				
45		コークス用原料炭								t	0				
46		吹込用原料炭								t	0				
47		輸入一般炭								t	0				
48		国産一般炭								t	0				
49		輸入無煙炭								t	0				
50	石炭コークス									t	0				
51	コールタール									t	0				
52	コークス炉ガス									千m ³	0				
53	高炉ガス									千m ³	0				
54	発電用高炉ガス									千m ³	0				
55	転炉ガス									千m ³	0				
56															
57		登録番号+メ ニユー	ガス事業者名	基準 tCO ₂ /千m ³	調整後 tCO ₂ /千m ³	(調整等) 基準 tCO ₂ /千m ³	(調整等) 調整後 tCO ₂ /千m ³	単位発熱量 GJ/千m ³							
58	都市ガス1	A0002	東京電力エナジー パートナー株式会社	2.05	2.05	2.05	2.05	45.0	千m ³	0					
59	都市ガス2	M000	メニユーA 東京瓦斯株式会社	2.05	0	2.05	2.05	45.0	千m ³	0					
60	都市ガス3							45.0	千m ³	0					
61	都市ガス4							45.0	千m ³	0					
62	都市ガス5							45.0	千m ³	0					
63	その他 化石燃料									0					
64										0					
65										0					
66										小計	-				
67	非化石燃料	黒炭								t	0				
68		木材								t	0				
69		炭質廃材								t	0				
70		バイオエタノール								kl	0				
71		バイオディゼル								kl	0				
72		バイオガス								千m ³	0				
73		その他バイオマス								t	0				
74		RDF								t	0				
75		RPF								t	0				
76		廃タイヤ								t	0				
77		廃プラスチック(一般廃棄物)								t	0				
78		廃プラスチック(産業廃棄物)								t	0				
79		廃油								kl	0				
80	廃棄物ガス								千m ³	0					
81	混合廃材								t	0					
82	水素								t	0					
83	アンモニア								t	0					
84	その他								GJ	0					
85	非化石燃料								GJ	0					
86										小計	-				

2 エネルギー使用量(化石燃料、非化石燃料)

① 原油換算 500kL 以上の全事業所の名称を入力してください。(28行目 P 列以降)

② 市内事業所のエネルギー使用量を入力してください。

②-1 原油換算 500kL 未満は**まとめて**入力してください。

※排出原単位(寄与度)を設定する場合は、原単位の種類ごとにグループ化した合計値を入力してください。

②-2 原油換算 500kL 以上は**それぞれ**入力してください。

③ 都市ガスの入力方法は、次ページで説明します。

④ 「その他化石燃料」、「その他バイオマス」、「その他非化石燃料」を使用している場合は、使用しているエネルギーの種類を入力してください。

※「その他化石燃料」及び「その他非化石燃料」のいずれか若しくは両方を使用している場合は、必ず【係数】シートの記入が必要となります。詳しくは本マニュアル 20～21 ページを参照してください。

2025 年度の報告書から新たに追加された項目

化石燃料

- ジェット燃料油
- 発電用高炉ガス

非化石燃料

- 黒液・木材・木質廃材・バイオエタノール等

変更された項目

化石燃料

- 石炭の項目を細分化(輸入原料炭・コークス用原料炭等)

2.3 エネルギー使用量の入力

『使用量 1,2』シート及び『ガス会社』シート

2 エネルギー使用量(都市ガス)

『使用量 1,2』シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
			登録番号+メ ニュー	ガス事業者名	基準 tCO ₂ /千m ³	調整後 tCO ₂ /千m ³	(残差等) 調整後 tCO ₂ /千m ³	(残差等) 調整後 tCO ₂ /千m ³	単位換算量 GJ/千m ³							
57			A0002	東京電力エナジー パートナー株式会社	2.05	2.05	2.05	2.05	45.0	千m ³	0		④			
58			A0020_メニュー-A	東京瓦斯株式会社	2.05	0	2.05	2.05	45.0	千m ³	0					
59			登録番号+メ ニュー						45.0	千m ³	0					
60			登録番号+メ ニュー						45.0	千m ³	0					
61			登録番号+メ ニュー	②					45.0	千m ³	0					
62			登録番号+メ ニュー						45.0	千m ³	0					
63			その他								0					
64			化石燃料								0					
65											0					
66											小計	-				

『ガス会社』シート

ガス事業者別排出係数一覧 [使用量1, 2シートへ](#) 2026年度提出用(2025年度実績値)

ガス事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)-R6年度供給実績- R7.6.30 環境省・経済産業省公表

登録番号+メニュー	ガス事業者名	基礎 排出係数 (t-CO ₂ /千m ³ , t-CO ₂ /GJ)	調整後 排出係数 (t-CO ₂ /千m ³ , t-CO ₂ /GJ)
① A0002	東京電力エナジーパートナー株式会社	2.05	2.05
A0020_メニュー-A	東京瓦斯株式会社	2.05	0.00
A0020_メニュー-B(残差)	東京瓦斯株式会社	2.05	2.05
A0025_メニュー-A	東邦ガス株式会社	2.05	0.00
A0025_メニュー-B(残差)	東邦ガス株式会社	2.05	2.05
D0025	越後天然ガス株式会社	2.01	2.01
D0028_メニュー-A	東海ガス株式会社	2.05	0.00
D0028_メニュー-B(残差)	東海ガス株式会社	2.05	2.05
H0004	山口合同ガス	2.05	2.05
代替値	代替値	2.05	2.05

【間違いやすいポイント】

同じガス会社でもメニューは多岐にわたります。
 一般的な契約プランの場合は、「(残差)」と記載されるメニューを選択してください。
 「カーボン・オフセット都市ガス」(カーボン・クレジットを活用した多様な都市ガスメニュー)
 を調達された場合には、適合するメニュー(赤字の緑色セル)を選択してください。

2 エネルギー使用量(都市ガス)

- ① 『ガス会社』シートで、購入先ガス会社(メニューがある場合はメニュー別)を検索し、「登録番号+メニュー」をコピーしてください。
該当するガス会社がない場合には、「代替値」をコピーしてください。
- ② ①でコピーした文字列を『使用量_1,2』シートの「登録番号+メニュー」欄に貼り付けてください。
- ③ 都市ガスの単位発熱量を確認してください。
初期値として45.0(GJ/千 m^3)が入力されています。
変更の必要がある場合は上書き修正してください。
- ④ ガス会社別に都市ガスの使用量を入力してください。

2025年度の報告書から変更された項目

- ガス会社名の選択

2.3 エネルギー使用量の入力

『使用量 1,2』シート及び『熱供給会社』シート

2 エネルギー使用量(熱)

『使用量 1,2』シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
87			産業用蒸気								GJ	0				
88		①	登録番号+メニュー	熱供給事業者名	基礎 tCO ₂ /GJ	調整後 tCO ₂ /GJ	(調整等) 基礎 tCO ₂ /GJ	(調整等) 調整後 tCO ₂ /GJ				②				
89			産業用以外の蒸気1	東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社 田町駅東口北地区	0.051	0.051	0.051	0.051		GJ	0					
90			温水1		0.051	0.051	0.051	0.051		GJ	0					
91			冷水1		0.051	0.051	0.051	0.051		GJ	0					
92			産業用以外の蒸気2	株式会社福岡エネルギーサービス 下川端再開発地域	0.055	0.0617	0.055	0.0617		GJ	0					
93			温水2		0.055	0.0617	0.055	0.0617		GJ	0					
94			冷水2		0.055	0.0617	0.055	0.0617		GJ	0					
95			産業用以外の蒸気3	丸の内熱供給株式会社	0.046	0.0451	0.046	0.0451		GJ	0					
96			温水3		0.046	0.0451	0.046	0.0451		GJ	0					
97			冷水3		0.046	0.0451	0.046	0.0451		GJ	0					
98			産業用以外の蒸気4	東京下水道エネルギー株式会社 後楽一丁目地区	0.0386	0.0329	0.0386	0.0329		GJ	0					
99			温水4		0.0386	0.0329	0.0386	0.0329		GJ	0					
100			冷水4		0.0386	0.0329	0.0386	0.0329		GJ	0					
101			その他購入熱							GJ	0					
102			その他使用した熱(地熱、温泉熱、太陽熱、雪氷熱など)							GJ	0					
103										小計	GJ	0	0	0	0	0

『熱供給会社』シート

2026年度提出用(2025年度実績値)

熱供給事業者別排出係数一覧 [使用量1, 2シートへ](#)

熱供給事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用) - R5年度供給実績 - R7.6.30 環境省・経済産業省公表

登録番号+メニュー	熱供給事業者名	基礎 排出係数 (t-CO ₂ /千m ³ , t-CO ₂ /GJ)	調整後 排出係数 (t-CO ₂ /千m ³ , t-CO ₂ /GJ)
002	東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社 田町駅東口北地区	0.0510	0.0510
006	丸の内熱供給株式会社	0.0460	0.0451
009	池袋地域冷暖房株式会社	0.0454	0.0420
014	新都市熱供給株式会社	0.0526	0.0502
016	西池袋熱供給株式会社	0.0485	0.0448
024	みなとみらい二十一熱供給株式会社	0.0495	0.0468
033	新宿熱供給株式会社	0.0529	0.0504
035	株式会社ディー・エイチ・シー銀座	0.0488	0.0470
039_01	株式会社福岡エネルギーサービス 下川端再開発地域	0.0550	0.0617
039_02	株式会社福岡エネルギーサービス シーサイドももち地区	0.0419	0.0485
039_03	株式会社福岡エネルギーサービス 西池袋再開発地域	0.0341	0.0398
047	東京下水道エネルギー株式会社 後楽一丁目地区	0.0386	0.0329
050	新宿南エネルギーサービス株式会社	0.0488	0.0456
057	錦糸町熱供給株式会社	0.0420	0.0390
058	品川熱供給株式会社	0.0478	0.0443
064	山王熱供給株式会社	0.0459	0.0432
068	株式会社エネルギー・ソリューション・アンド・サービス	0.0405	0.0410
069	品川エネルギーサービス株式会社	0.0447	0.0414
073	DHC名古屋株式会社	0.0499	0.0348
079_01	虎ノ門エネルギーネットワーク株式会社 虎ノ門一丁目地区	0.0460	0.0443
079_02	虎ノ門エネルギーネットワーク株式会社 虎ノ門・麻布台地区	0.0468	0.0446
代替値	代替値	0.0532	0.0532

2 エネルギー使用量(熱)

- ① 都市ガスと同様の方法で、『熱供給会社』シートでコピーした「登録番号+メニュー」を、『使用量_1,2』シートの「登録番号+メニュー」欄に貼り付けてください。
該当する熱供給会社がない場合には、「代替値」をコピーしてください。
- ② 熱供給会社別に熱の使用量を入力してください。

- ③ 「その他購入熱」、「その他使用した熱(地熱、温泉熱、太陽熱、雪氷熱など)」を使用している場合は、使用しているエネルギーの種類を入力してください。

※「その他購入熱」、「その他使用した熱(地熱、温泉熱、太陽熱、雪氷熱など)」のいずれか若しくは両方を使用している場合は、必ず【係数】シートの記入が必要となります。詳しくは本マニュアル 20～21 ページを参照してください。

なお、廃棄物の焼却に伴い発生する廃熱を利用した蒸気・温水等の使用については、購入側の排出係数は0となります。

2025 年度の報告書から変更された項目

- 熱供給会社名の選択
- 廃棄物の焼却に伴い発生する廃熱を利用した蒸気、温水等の購入時の係数

2.3 エネルギー使用量の入力

『使用量 1,2』シート及び『電力会社』シート

2 エネルギー使用量(電気)

『使用量 1,2』シート

① 別「登録番号+メニュー」は『電力会社』シートより購入先電力会社の「登録番号+メニュー」をコピー&ペーストして下さい。
一般的な契約プランの場合はメニューの後に「残差」とつく電力メニューを選択してください。

登録番号+メニュー	電気事業者名	差額 tCO2/kWh	調整後 tCO2/kWh	差額 tCO2/kWh	調整後 tCO2/kWh	千kWh	0
A0002	イーレックス(株)	0.000483	0.000441	0.000483	0.000441		
A0004_メニューA	エバーグリーン・リテイリング(株)	0.000492	0	0.000492	0.000437		
登録番号+メニュー						千kWh	0
登録番号+メニュー						千kWh	0
登録番号+メニュー						千kWh	0

②

③ 6社より多い場合、110~124行目を再表示してください。その他の電気事業者に該当する場合は、C128:C130のセルに供給元の事業者名を入力してください。また、F128:1130のセルに基礎排出係数(tCO2/kWh)及び調整後排出係数(tCO2/kWh)を入力してください。残差等がある場合、残差等の排出係数も入力してください。

『電力会社』シート

売電事業者排出係数一覧 2026年度排出(2025年度実績値)

④

登録番号+メニュー	電気事業者名	基礎 排出係数 (t-CO2/kWh)	調整後 排出係数 (t-CO2/kWh)
A0002	イーレックス(株)	0.000483	0.000441
A0003	エスパワー(株)	0.000463	0.000000
A0004_メニューA	エバーグリーン・リテイリング(株)	0.000492	0.000000
A0004_メニューB(残差)	エバーグリーン・リテイリング(株)	0.000492	0.000437
A0004(参考値)事業者全体	エバーグリーン・リテイリング(株)	0.000492	0.000436
A0006_メニューA	エバーグリーン・マーケティング(株)	0.000354	0.000000
A0006_メニューB(残差)	エバーグリーン・マーケティング(株)	0.000354	0.000441
A0006(参考値)事業者全体	エバーグリーン・マーケティング(株)	0.000354	0.000392
A0007	株ISEウィングス	0.000257	0.000372
A0008	株イーセル	0.000481	0.000426
A0009_メニューA	株江ネット	0.000405	0.000000
A0009_メニューB	株江ネット	0.000405	0.000000
A0009_メニューC	株江ネット	0.000405	0.000300
A0009_メニューD	株江ネット	0.000405	0.000349
A0009_メニューE	株江ネット	0.000405	0.000370
A0009_メニューF(残差)	株江ネット	0.000405	0.000367
A0009(参考値)事業者全体	株江ネット	0.000405	0.000325
A0011_メニューA	株賀川瓦斯(株)	0.000408	0.000000
A0011_メニューB(残差)	株賀川瓦斯(株)	0.000408	0.000419
A0011(参考値)事業者全体	株賀川瓦斯(株)	0.000408	0.000417
A0012_メニューA	株出光興産(株)	0.000302	0.000000
A0012_メニューB	株出光興産(株)	0.000302	0.000000
A0012_メニューC	株出光興産(株)	0.000302	0.000199
A0012_メニューD(残差)	株出光興産(株)	0.000302	0.000476
A0012(参考値)事業者全体	株出光興産(株)	0.000302	0.000470
A0013_メニューA	株オプテージ	0.000500	0.000000
A0013_メニューB	株オプテージ	0.000500	0.000000

【使い方の説明】

1 電気事業者の選び出しには「オートフィルター」機能で検索し、メニューのセルをコピー。
『東京電力エナジーパートナー(株)』を例に、以下説明します。

①「電気事業者名」のプルダウンを開く

②「東京」で検索する

【間違いやすいポイント】

同じ電力会社でも電力メニューは多岐にわたります。
一般的な契約プランの場合は、「(残差)」と記載される電力メニューを選択してください。
CO2フリーメニュー(排出係数0)にて調達した電力については、適合するメニュー(赤字緑色セルにて表示)を選択してください。

2 エネルギー使用量(電気)

- ① 都市ガスと同様の方法で、『電力会社』シートでコピーした「登録番号+メニュー」を、『使用量_1,2』シートの「登録番号+メニュー」欄に貼り付けてください。
- ② 電力会社別に電気の使用量を入力してください。
- ③ 初期状態では 5 社分の入力欄のみ表示しています。
(6社目以降の入力欄を非表示としています。)
契約している電力会社が 5 社より多い場合は、6社目以降(110~124 行目)の入力欄を再表示してください。
- ④ 電気事業者の選び出しには、オートフィルター機能を使用して検索してください。
詳しい方法は、『電力会社』シートに記載していますので、ご参照ください。

2025 年度の報告書から変更された項目

- 電気の使用量を昼夜別から合計値に変更

2.3 エネルギー使用量の入力

『使用量 1,2』シート

2 エネルギー使用量(その他の電力会社、自家発電)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
			5社より多い場合、110~124行目を再表示してください。				その他の電気事業者に該当する場合は、C128:C130のセルに供給元の事業者名を入力してください。また、F128:F130のセルに基礎排出係数(tCO ₂ /kWh)及び調整後排出係数(tCO ₂ /kWh)を入力してください。殊差等がある場合、殊差等の排出係数も入力してください。⇒排出係数の算出根拠を別途ご提示ください。									
			その他電気事業者名	基礎 tCO ₂ /kWh	調整後 tCO ₂ /kWh	(殊差等) 基礎 tCO ₂ /kWh	(殊差等) 調整後 tCO ₂ /kWh									
125																
126	電		オフサイト型PPA	②						千kWh	0		⑤			
127	気		自己託送_非燃料由来の非化石電気							千kWh	0					
128			①			③				千kWh	0					
129										千kWh	0					
130										千kWh	0					
131																
132			太陽光							千kWh	0					
133			風力							千kWh	0					
134			地熱							千kWh	0					
135			水力							千kWh	0					
136			自家発電							千kWh	0					
137			その他非燃料由来の非化石	④						千kWh	0					
138			その他の燃料(化石)							千kWh	0					
139			その他の燃料(非化石)							千kWh	0					
140			その他の熱(化石)							千kWh	0					
141			その他の熱(非化石)							千kWh	0					
									小計	千kWh	0		0	0	0	0

【間違いやすいポイント】

自家発電 太陽光

太陽光発電設備を設置している場合、発電した電気を入力してください。

(自家消費、売電の区分に関わらず、発電した電気をすべて計上してください。)

2 エネルギー使用量(その他の電気事業者、自家発電)

- ① その他の電気事業者に該当する場合は、供給元の事業者名を入力してください。
※その他の電気事業者に該当する場合で、単位発電量を初期値(8.64)から変更する場合は、【係数】シートの記入が必要となります。詳しくは本マニュアル 20～21 ページを参照してください。
- ② 基礎排出係数(tCO₂/kWh)及び調整後排出係数(tCO₂/kWh)を入力してください。
- ③ 残差等がある場合、残差等の排出係数も入力してください。
※排出係数の算出根拠を別途ご提出ください。
- ④ 自家発電にて使用した電力(再生可能エネルギー以外)の項目を入力してください。
「その他」の種類を入力してください。
「その他の燃料(化石)」、「その他の燃料(非化石)」、「その他の熱(化石)」、「その他の熱(非化石)」由来の自家発電の使用量は、参考値として入力してください。
(再生可能エネルギー等電源比率の算定に使用します。)
なお、発電に使用した「その他の燃料(化石)」、「その他の燃料(非化石)」、「その他の熱(化石)」、「その他の熱(非化石)」の投入量については、シート上部の「化石燃料」、「非化石燃料」、「熱」の欄に入力してください。
※「その他の燃料(化石)」又は「その他の熱(化石)」のいずれか若しくは両方を使用している場合は、必ず【係数】シートの記入が必要となります。詳しくは本マニュアル 20～21 ページを参照してください。
- ⑤ 各項目の電気の使用量を入力してください。
事業所に設置した太陽光発電システム等を再生可能エネルギーにて発電した電力については(自家消費、売電の区分に関わらず、すべての電力)を計上してください。

2025 年度の報告書から変更された項目

- 自家発電の項目を細分化

2.3 エネルギー使用量の入力

他者へのエネルギー供給がある場合1

⇒本マニュアル7ページ①他社へのエネルギー供給(販売)欄を「有り」とした場合

『外部供給』シート

二酸化炭素排出量算定表(1号、2号用)エネルギー-外部供給量入力表		2026年度提出用(2025年度実績)											
エネルギー集計対象の事業所数		10件		【注意】 このシートは、自ら生成した熱、電気等をエネルギー管理権限の異なる他人へ供給した場合のみ入力してください。 【入力方法】 前年度に自ら生成した「熱」または「電気」をエネルギー管理権限の異なる他人へ供給した際の当該供給量にかかる原燃料の量を記入してください。 ※自家発電した電気を外部に供給した場合は、「外部供給した電力量」を「発電に使用した燃料の量」に換算して各燃料の欄に入力									
原油換算エネルギー使用量が500kL以上の大規模事業所数		8件											
1 エネルギー-外部供給量													
エネルギーの種類	単位	横浜市内合計	原油換算500kL未満の事業所 (※等年度の合計から求める場合は、 原単位の種類別に列を変えて「外部供給量合計」を入力してください)	原油換算500kL以上の事業所名称							備考		
				事業所名を 入力1	事業所名を 入力2	事業所名を 入力3	事業所名を 入力4	事業所名を 入力5	事業所名を 入力6	事業所名を 入力7			
原油(コンデンセートを除く)	kL	①									②		
原油のうちコンデンセート(NGL)	kL												
揮発油(ガソリン)	kL												
ナフサ	kL												
ジェット燃料油	kL												
灯油	kL												
軽油	kL												
H重油	kL												
B・C重油	kL												
石油アスファルト	t												
石油コークス	t												
石油ガス	液化石油ガス(LPG)												
	石油系炭化水素ガス	千m ³											
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)	千m ³											
	その他可燃性天然ガス	千m ³											
燃料	輸入原料炭	t											
	コークス用原料炭	t											
	吹込用原料炭	t											
	輸入一般炭	t											
	国産一般炭	t											
	輸入重油炭	t											

他者へのエネルギー供給がある場合2

⇒本マニュアル7ページ①他社へのエネルギー供給(販売)欄を「無し」とした場合

『使用量 1,2』シート

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
146	原油換算エネルギー使用量					合計				kL	0	0	0	0	0
147	二酸化炭素排出量					基礎				tCO2	0	0	0	0	0
148						調整後				tCO2	0	0	0	0	0
149						基礎(残差等)				tCO2	0	0	0	0	0
150						調整後(残差等)				tCO2	0	0	0	0	0
151	エネルギー消費原単位の指標					名称				-					
152						量(C)				-					
153						単位(★)				-					
154	エネルギー消費原単位(kJ/★)(有効数字四桁)					(D)=(A-B-B')÷C				kJ/★					
155	原油換算エネルギー使用量(非化石燃料に0.8を乗じた量)					(A)				kL	0	0	0	0	0
156	販売した副生エネルギー					(B)				kL	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
157	購入した未利用熱					(B')				kL	0	0	0	0	0
158	販売した副生エネルギー1										④				
159	販売した副生エネルギー2														
160	販売した副生エネルギー3														
161	購入した未利用熱									GJ	⑤				

他者へのエネルギー供給がある場合1

『外部供給』シート

『外部供給』シートは、『使用量 1,2』シートの「1 基礎情報」で、他者へのエネルギー供給が「有り」の場合のみ入力が必要です。

- ① 原油換算 500kL 未満の事業所の外部供給量をまとめて入力してください。
- ② 原油換算 500kL 以上の事業所ごとに外部供給量をそれぞれ入力してください。

<「有り」を選択した場合の注意事項>

この項目は、熱供給事業法上の熱供給事業者(※)に該当し、熱供給事業を行う事業所として登録を受けている工場等または、電気事業法上の発電事業者(※)に該当し、発電事業を行う事業所として届け出ている工場等のみが対象となります。

上記以外の事業者は、「無し」としてください。

※熱供給事業者：熱供給事業法第2条第3項に規定する熱供給事業者

発電事業者：電気事業法第2条第1項第15号に規定する発電事業者

他者へのエネルギー供給がある場合2

『使用量 1,2』シート

販売した副生エネルギー※1、購入した未利用熱※2 がある場合

- ③ 「販売した副生エネルギー」がある場合、エネルギーの種類をプルダウンリストから選択してください。
- ④ 「販売した副生エネルギー」の「量」を入力してください。
- ⑤ 「購入した未利用熱」の「量」を入力してください。

複数の種類の「購入した未利用熱」がある場合は、それらの熱量の合計値を入力してください。

※1 販売した副生エネルギー：自者の事業所等で発電した電力等を事業者内で消費せずに他者に供給したエネルギーを指す。なお、熱供給事業法上の熱供給事業者に該当し、熱供給事業を行う事業所として登録を受けている工場等において生産された熱は、副生エネルギーに該当しない。(外部供給シートへ入力)

※2 購入した未利用熱：他社から購入した未利用熱を指す。未利用熱とは、「自社内で用途がないため、他事業者へ提供しなければ、省エネ法判断基準に従って取組を行っても発生を抑制できず廃棄することが見込まれる熱」をいう。

2025 年度報告書より新たに追加された項目

- 販売した副生エネルギー
- 購入した未利用熱

排出係数等を変更する場合

『係数』シート

排出係数の設定

基礎情報 ※ 標準の設定から変更する場合

(1) 排出係数と、電気の発熱量の設定(標準の設定から変更する場合)

エネルギーの種類	単位発熱量		排出係数		CO ₂ 換算	
	単位	分母単位	基礎	調整後	基礎	調整後
廃油(コージェネラターを除く)	39.3	kJ/L	0.0190	0.0190	0.0190	2.67
原油のうちコンデンサート(NGL)	34.8	kJ/L	0.0183	0.0183	0.0183	2.34
揮発油(ガソリン)	33.4	kJ/L	0.0187	0.0187	0.0187	2.29
ナフタ	33.3	kJ/L	0.0186	0.0186	0.0186	2.27
ジェット燃料油	36.3	kJ/L	0.0186	0.0186	0.0186	2.48
灯油	36.5	kJ/L	0.0187	0.0187	0.0187	2.50
軽油	39.0	kJ/L	0.0188	0.0188	0.0188	2.62
A重油	38.9	kJ/L	0.0183	0.0183	0.0183	2.75
B重油	41.8	kJ/L	0.0202	0.0202	0.0202	3.10
石油コークス	40.0	GJ/t	0.0204	0.0204	0.0204	2.99
石油ガス	50.1	GJ/t	0.0163	0.0163	0.0163	2.89
液化石油ガス(LPG)	49.1	GJ/t	0.0144	0.0144	0.0144	2.43
石炭	54.7	GJ/t	0.0138	0.0138	0.0138	2.79
可燃性天然ガス	39.4	GJ/t	0.0139	0.0139	0.0139	1.96
非可燃性天然ガス	39.4	GJ/t	0.0139	0.0139	0.0139	1.96
輸入原料	29.7	GJ/t	0.0246	0.0246	0.0246	2.59
輸入原料	29.9	GJ/t	0.0245	0.0245	0.0245	2.60
輸入原料	29.3	GJ/t	0.0251	0.0251	0.0251	2.60
輸入原料	29.1	GJ/t	0.0242	0.0242	0.0242	2.33
輸入原料	24.2	GJ/t	0.0242	0.0242	0.0242	2.15
輸入原料	27.8	GJ/t	0.0259	0.0259	0.0259	2.64
輸入原料	29.0	GJ/t	0.0259	0.0259	0.0259	3.18
輸入原料	37.3	GJ/t	0.0208	0.0208	0.0208	2.89
輸入原料	18.4	GJ/t	0.0109	0.0109	0.0109	0.74
輸入原料	3.23	GJ/t	0.0264	0.0264	0.0264	0.31
輸入原料	3.45	GJ/t	0.0264	0.0264	0.0264	0.33

『係数』シートイメージ

- 本マニュアル8～9ページ(2 エネルギー使用量(化石燃料、非化石燃料))で「その他化石燃料」及び「その他非化石燃料」を入力した場合

その他化石燃料	①	②	GJ/	③
			GJ/	
その他非化石燃料		④	GJ/GJ	GJ
			GJ/GJ	GJ

- 本マニュアル12～13ページ(2 エネルギー使用量(熱))で「その他購入熱」、「その他使用した熱(地熱、温泉熱、太陽熱、雪氷熱など)」を入力した場合

その他購入熱	⑤	GJ/GJ	GJ	⑥
その他使用した熱(地熱、温泉熱、太陽熱、雪氷熱など)		GJ/GJ	GJ	

- 本マニュアル16～17ページ(2 エネルギー使用量(その他の電力会社、自家発電))でその他の電気事業者を入力し、初期値以外の単位発熱量を設定する場合

その他上記以外の買電(※1)	オフサイト型PPA	3.60
	自己託送非燃料由来の非化石電気	3.60
	⑦	⑧ 8.64
		8.64

- 本マニュアル16～17ページ(2 エネルギー使用量(その他の電力会社、自家発電))で「その他の燃料(化石)」又は「その他の熱(化石)」を入力した場合

自家発電	太陽光	3.60	GJ/千kWh	千kWh	0.000000
	風力	3.60	GJ/千kWh	千kWh	0.000000
	地熱	3.60	GJ/千kWh	千kWh	0.000000
	水力	3.60	GJ/千kWh	千kWh	0.000000
	その他燃料由来の非化石	3.60	GJ/千kWh	千kWh	0.000000
	その他の燃料(化石)	⑨ 8.64	GJ/千kWh	千kWh	⑩ 0.000000
	その他の熱(化石)	8.64	GJ/千kWh	千kWh	0.000000
その他の熱(非化石)	8.64	GJ/千kWh	千kWh	0.000000	

排出係数等を変更する場合

『係数』シート

『係数』シートは、燃料などの排出係数等を変更する場合や、電気の発熱量を標準設定から変更する場合のみ使用します。

なお、黄色セル、緑色セルのみ変更可能です。

●本マニュアル8～9ページ（2 エネルギー使用量（化石燃料、非化石燃料））で 「その他化石燃料」及び「その他非化石燃料」を入力した場合

<その他化石燃料の場合>

- ① 「使用量_1,2」シートで入力した名称が表示されていることを確認します。
- ② 単位発熱量及びその分母単位を入力します。
- ③ 基礎排出係数を入力します。

<その他非化石燃料の場合>

- ① 「使用量_1,2」シートで入力した名称が表示されていることを確認します。
- ② 単位発熱量を入力します。
- ④ 基礎排出係数を入力します。

●本マニュアル12～13ページ（2 エネルギー使用量（熱））で「その他購入熱」、 「その他使用した熱（地熱、温泉熱、太陽熱、雪氷熱など）」を入力した場合

- ⑤ 単位発熱量を入力します。
- ⑥ 基礎排出係数を入力します。

●本マニュアル16～17ページ（2 エネルギー使用量（その他の電力会社、自家発電））でその他の電力会社を入力し、初期値以外の単位発熱量を設定する場合

- ⑦ 「使用量_1,2」シートで入力した名称が表示されていることを確認します。
- ⑧ 初期値(8.64)から任意の単位発熱量に変更します。

●本マニュアル16～17ページ（2 エネルギー使用量（その他の電力会社、自家発電））で「その他の燃料(化石)」又は「その他の熱(化石)」を入力した場合

- ⑨ 「使用量_1,2」シートで入力した名称が表示されていることを確認します。
- ⑩ 基礎排出係数を入力します。

2.3 エネルギー使用量の入力

『使用量 1,2』シート

2 エネルギー使用量(エネルギー消費原単位)

●事業者全体で統一の原単位を使用する場合

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
146	原油換算エネルギー使用量						合計				kl	0	0	0	0	0
147	二酸化炭素排出量						基礎				tCO2	0	0	0	0	0
148							調整後				tCO2	0	0	0	0	0
149							基礎(残差等)	①			tCO2	0	0	0	0	0
150							調整後(残差等)				tCO2	0	0	0	0	0
151	エネルギー消費原単位の指標						名称				-					
152							量(C)				-					
153							単位(★)				-					
154	エネルギー消費原単位(kl/★)(有効数字四桁)						(D)=(A-B-B')÷C				kl/★					
155	原油換算エネルギー使用量(非化石燃料に0.8を乗じた量)						(A)				kl	0	0	0	0	0
156	販売した副生エネルギー						(B)				kl	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
157	購入した未利用熱						(B')				kl	0	0	0	0	0
158	販売した副生エネルギー1										kl	0	0	0	0	0
159	販売した副生エネルギー2										kl	0	0	0	0	0
160	販売した副生エネルギー3										kl	0	0	0	0	0
161	購入した未利用熱										kl	0	0	0	0	0
											GJ	0	0	0	0	0

●原単位の寄与度の合計から求める場合

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
146	原油換算エネルギー使用量						合計				kl	0	0	0	0	0
147	二酸化炭素排出量						基礎				tCO2	0	0	0	0	0
148							調整後				tCO2	0	0	0	0	0
149							基礎(残差等)				tCO2	0	0	0	0	0
150							調整後(残差等)				tCO2	0	0	0	0	0
151	エネルギー消費原単位の指標						名称				-					
152							量(C)				-					
153							単位(★)				-					
154	エネルギー消費原単位(kl/★)(有効数字四桁)						(D)=(A-B-B')÷C				kl/★					
155	原油換算エネルギー使用量(非化石燃料に0.8を乗じた量)						(A)				kl	0	0	0	0	0
156	販売した副生エネルギー						(B)				kl	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
157	購入した未利用熱						(B')				kl	0	0	0	0	0
158	販売した副生エネルギー1										kl	0	0	0	0	0
159	販売した副生エネルギー2										kl	0	0	0	0	0
160	販売した副生エネルギー3										kl	0	0	0	0	0
161	購入した未利用熱										kl	0	0	0	0	0
											GJ	0	0	0	0	0
162	寄与度の合計から求めた原単位を使用して報告書を作成する場合															
163	基準(2021)年度原単位						(E)				kl/★					
164	エネルギー消費量構成比						(R)				-					
165	実施年度削減率 (F=(1-D/E)×100)						(F)				%					
166	実施年度削減率(構成比重みづけ) (Σ(R×F)×100)						寄与度の合計の場合				%	0.00				
167	寄与度の合計から求めた原単位を使用して計画書を作成する場合															
168	目標(2027)年度原単位						(G)				kl/★					
169	エネルギー消費量構成比						(R)				-					
170	目標年度削減率 (H=(1-G/D)×100)						(H)				%					
171	目標年度削減率(構成比重みづけ) (Σ(R×H)×100)						寄与度の合計の場合				%	0.00				

2 エネルギー使用量(エネルギー消費原単位)

※エネルギー消費原単位は、2025 年度に提出した計画書(2024 年度実績に基づき設定)と同一の単位としてください。

●事業者全体で統一の原単位を使用する場合

- ① 黄色セルにエネルギー消費原単位の指標の「名称」、「単位」を入力してください。
(昨年度設定した原単位が I153 セルに表示されます。)
※エネルギー消費原単位の指標は、エネルギー消費量と密接な関係がある値としてください。
- ② 緑色セルに①の入力内容が反映されます。
黄色セルにエネルギー消費原単位の指標の「量」を入力してください。

●原単位の寄与度の合計から求める場合

2025 年度提出の計画書にて事業所ごと異なる原単位の指標を設定した場合

- ③ 事業所ごとに、エネルギー消費原単位の指標の「名称」、「量」、「単位」を入力してください。
※原油換算 500kL 以上の事業所の入力欄は参照式が入った緑色セルとなっておりますが、必要に応じて上書きしてください。
- ④ 寄与度の合計から求めた原単位を使用して報告書を作成する場合は、「基準(2024)年度原単位」を入力してください。

第3章 報告書の作成

『報1』シート

【間違いやすいポイント】
提出日を忘れず入力してください。

細則第88号様式（第2条第49号）
（総括票）

地球温暖化対策実施状況報告書

（提出先）
横浜市長

① 事業者ID 18XXXX

② 2026年 7月 30日

住所 神奈川県横浜市〇〇区××町■-△

③ 氏名 株式会社 横浜
代表取締役社長 横浜 太郎

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり提出します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	株式会社 横浜 代表取締役社長 横浜 太郎			④
主たる事業所の所在地	神奈川県横浜市〇〇区××町■-△			⑤
主たる事業の業種	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）		⑥
	中分類	98 地方公務		
⑦-1 該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 条例第144条の4該当事業者（任意提出事業者）	<input type="checkbox"/> 1・2号	<input type="checkbox"/> 3号事業者	
⑦-2	原油換算エネルギー使用量	23,212 kl	市内全事業所数	10 事業所
			原油換算エネルギー使用量が500kl以上の事業所数	3 事業所
	自動車の台数	100 台		

2 計画期間及び実施年度

⑧-1 計画期間	2025 年度 ~ 2027 年度	⑧-2 実施年度	2024 年度
-------------	-------------------	-------------	---------

3 公表の方法

<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ	アドレス	http://www.xxxx.co.jp/csr/kankyo.html
<input type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所	
	所在地	⑨
	閲覧可能時間	
<input type="checkbox"/> その他		

『報1』シート

黄色セル 記入してください。

緑色セル 事業者 ID に応じて昨年度情報を表示しています。

変更がある場合は上書き修正してください。

- ① 事業者 ID は、『はじめに』シートから自動でデータが反映されます【入力不要】
- ② 電子申請システムで提出する日付を入力してください。【入力必要】
- ③ 事業者の名称、代表者氏名等に変更があった場合は、P4「はじめに」シートの③事業者の状況変更にて変更があった項目等を入力してください。【自動表示】
代表者から権限を委任されている者が提出する場合は、委任状を添付した上で、受任者の名前で提出してください。前年度までに委任状を提出しており、代表者及び受任者に変更がない場合は委任状の提出は不要です。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

- ④ 修正が必要な場合は、事業者の名称及び代表者の氏名を入力してください。
【自動表示】 ※各項目に「旧:」等の表記は不要です。
- ⑤ 修正が必要な場合は、本社の所在地を入力してください。【自動表示】
本社が市外にある場合は、その所在地を入力してください。
- ⑥ 修正が必要な場合は、主たる事業の業種をプルダウンリストから選択してください。
【自動表示】
主たる事業の業種については日本標準産業分類をご参照ください。
- ⑦-1 修正が必要な場合は、該当する事業者の要件を選択してください。【自動表示】
実施年度に要件(原油換算エネルギー使用量が 1,500kL 以上、または市内自動車台数 100 台以上)に該当しなくなった場合であっても、計画期間中は任意提出事業者とはなりませんのでご注意ください。
- ⑦-2 『使用量 1,2』シートから、実施年度における各値が反映されます。【入力不要】

2 計画期間及び実施年度

- ⑧-1 提出済みの計画書に記載した期間を入力済みです。【入力不要】
なお、「年度」は、4月1日から翌年3月 31 日までを指します。
- ⑧-2 提出前年度を入力済みです。【入力不要】

3 公表の方法

- ⑨ 報告書の公表方法を選択してください。
広く公表できるよう、ホームページによる公表を推奨します。
窓口での閲覧の場合、所在地は、市内事業所ではない場所(市外の本社等)も可能です。

『報2』シート

4の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況(第1号及び第2号該当事業者)

細則第38号様式(第2条第49号)
(総括票)

4の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況(第1号及び第2号該当事業者)

		特定温室効果ガス排出量		削減率	エネルギー消費原単位		再生可能エネルギー等電源比率		
基準年度 (2024年度)	① 基礎	47,528	t-CO ₂	②	92.85	kl/	百m2	9.9	%
	調整後	(47,528)							
目標年度 (2027年度)	基礎	40,560	t-CO ₂	3.2 %	91.5	kl/	百m2	10	%
	調整後	(36,860)		3.8 %	削減率	1.5 %			
第一年度 (2025年度)	基礎		t-CO ₂	%		kl/			%
	調整後			%	削減率		%		
第二年度 (2026年度)	基礎		t-CO ₂	%		kl/			%
	調整後			%	削減率		%		
第三年度 (2027年度)	基礎		t-CO ₂	%		kl/			%
	調整後			%	削減率		%		
実施年度の振り返り (2025年度)	事業活動量	<input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> ほぼ変動なし <input checked="" type="radio"/> 減							
	自由記述欄	運用対策の徹底や照明設備のLED化を推進した。							

『報2』シート

4の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況(第1号及び第2号当事業者)

① 特定温室効果ガス排出量【入力不要】

・基準年度 基礎

提出済みの計画書に記載された値が表示されます。

上段には基準年度における、すべての事業所のエネルギー使用に係る排出量(電気、ガスの場合はメニュー別の基礎排出係数(残差等)を使用)の合計値、下段の括弧内には、メニュー別の調整後排出係数で計算した排出量が表示されます。

※変更がある場合は、市担当者へ御連絡ください。

・基準年度 調整後

提出済みの計画書に記載された値が表示されます。

上段には基準年度における、すべての事業所のエネルギー使用に係る排出量(電気、ガスの場合はメニュー別の調整後排出係数(残差等)を使用)の合計値、下段の括弧内には、メニュー別の調整後排出係数で計算した排出量が表示されます。

・目標年度 基礎、調整後

提出済みの計画書に記載された値が表示されます。

・第一年度、第二年度、第三年度 基礎

過年度に報告いただいた値が表示されます。

実施年度の値は、『使用量 1,2 シート』から反映され、実施年度における、すべての事業所のエネルギー使用に係る排出量(電気、ガス、熱の場合は基礎排出係数を使用)の合計から「5 クレジット等に関する取組状況」の「特定温室効果ガス削減相当量」を差し引いた値が表示されます。

使用量 1,2 シートを使用しない場合は、市担当者へ御連絡ください。

・第一年度、第二年度、第三年度 調整後

過年度に報告いただいた値が表示されます。

実施年度の値は、『使用量 1,2 シート』から反映され、実施年度における、すべての事業所のエネルギー使用に係る排出量(電気、ガス、熱の場合は調整後排出係数を使用)の合計から、「5 クレジット等に関する取組状況」の「特定温室効果ガス削減相当量」を差し引いた値が表示されます。

使用量 1,2 シートを使用せずに排出量を算定した場合は、市担当者へ御連絡ください。

② 削減率【入力不要】

特定温室効果ガス排出量の削減率が、以下の通り自動計算されます。

削減率 = (基準年度の排出量 - 当該年度の排出量) / 基準年度の排出量 × 100

なお、計算途中は各項目の端数処理後の数値で計算し、算出結果の小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの値が表示されます。

『報2』シート

4の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況(第1号及び第2号該当事業者)

細則第38号様式(第2条第49号)
(総括票)

4の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況(第1号及び第2号該当事業者)

	特定温室効果ガス排出量		削減率	エネルギー消費原単位		再生可能エネルギー等電源比率	
	基礎	調整後		削減率	再生可能エネルギー等電源比率		
基準年度 (2024年度)	基礎	47,528 (47,528) t-CO ₂	/	92.85 kl/ 百m ²		② 9.9 %	
	調整後	40,560 (36,660) t-CO ₂		①			
目標年度 (2027年度)	基礎	46,000 t-CO ₂	3.2 %	91.5 kl/ 百m ²		10 %	
	調整後	39,000 t-CO ₂	3.8 %	削減率	1.5 %		
第一年度 (2025年度)	基礎	t-CO ₂	%	kl/		%	
	調整後	t-CO ₂	%	削減率	%		
第二年度 (2026年度)	基礎	t-CO ₂	%	kl/		%	
	調整後	t-CO ₂	%	削減率	%		
第三年度 (2027年度)	基礎	t-CO ₂	%	kl/		%	
	調整後	t-CO ₂	%	削減率	%		
実施年度の振り返り (2025年度)	事業活動量	<input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> ほぼ変動なし <input checked="" type="radio"/> 減		③			
	自由記述欄	運用対策の徹底や照明設備のLED化を推進した。					④

【間違いやすいポイント】
事業活動量の実績を忘れず入力してください。

『報2』シート

4の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況(第1号及び第2号当事業者)

① エネルギー消費原単位【入力不要】

・基準年度、目標年度

提出済みの計画書に記載された値が表示されます。

すでに提出済みの計画書において、目標設定がない場合は空欄です。

※変更がある場合は、市担当者へ御連絡ください。

・第一年度、第二年度、第三年度

過年度に報告いただいた値が表示されます。(実施年度の値は、「使用量1,2シート」を記入することで、エネルギー消費原単位が自動表示されます。)

原単位の指標(分母)は、エネルギー消費量と密接な関係を持つ数量(生産数量、建物延床面積等)を設定してください。

エネルギー消費原単位は、数値が1以上となるように設定し、記載は小数第2位までとしてください。

計画期間中は、設定した原単位の指標(分母)を変更できません。

なお、原単位の指標を1つにできないときは、寄与度の合計から算出できます。

・削減率

エネルギー消費原単位の削減率が、以下の通り自動計算されます。

削減率 = (基準年度の原単位 - 当該年度の原単位) / 基準年度の原単位 × 100

なお、計算途中は各項目の端数処理後の数値で計算し、算出結果の小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの値が表示されます。

② 再生可能エネルギー等電源比率【入力不要】

・基準年度、目標年度

提出済みの計画書に記載された値が表示されます。

・第一年度、第二年度、第三年度

過年度に報告いただいた値が表示されます。

③ 実施年度における事業活動量【入力必要】

「増」、「ほぼ変動なし」、「減」のいずれかから選択してください。

④ ③で選択した事業活動量の要因について、省エネ取組の有無や事業活動量の増減を含め、具体的に記入してください。【入力必要】

2025年度の報告書から新たに追加された項目

- 再生可能エネルギー等電源比率

変更された項目

- 排出原単位 → エネルギー消費原単位

『報3』シート

5 クレジット等に関する取組状況

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

5 クレジット等に関する取組状況

番号	クレジット等の名称	特定温室効果ガス削減相当量 [t-CO ₂ e]	換算電力量	再エネ指定
1	FIT非化石証書	22	50000 kWh	○
2				
3	①	②	③	④
4				
5				

『報3』シート

5 クレジット等に関する取組状況 **【該当ある場合は入力必要】**

- ① 実施年度に取得したクレジット等をプルダウンリストから選択してください。
選択したクレジット等の概要を示した資料(認証削減量や内容などが確認できるもの)を提出してください。

プルダウンで選択できるクレジットは、次の表の通りです。表中にないクレジットを記載する場合は、市へ削減相当量の換算方法を御相談ください。

「**カーボン・オフセット都市ガス**」(カーボン・クレジットを活用した多様な都市ガスメニュー)を調達された場合には、使用量1, 2シートの都市ガス会社メニューにて該当するメニューを選択してください。(P10~を参照してください)

クレジット等の名称	
J-クレジット_再エネ電力由来	
J-クレジット_再エネ熱由来	
J-クレジット_その他	
グリーン電力証書	
グリーン熱証書	
FIT 非化石証書	
非 FIT 非化石証書(再エネ指定あり)	
非 FIT 非化石証書(再エネ指定なし)	

- ② 認証された削減量を入力してください。
 ①で電力量に関するクレジットを選択した場合は、以下の計算式により特定温室効果ガス削減相当量へ変換して入力してください。

電力量に関するクレジットによる「特定温室効果ガス削減相当量」
 = 換算電力量(kWh) × 全国平均係数(t-CO₂/kWh) × 補正率

全国平均係数(t-CO ₂ /kWh)	0.000423
FIT補正率	1.01
非FIT補正率	1.01

※なお、**非化石証書による「特定温室効果ガス削減相当量」は、電気の使用に伴う排出量が上限となります。**

- ③ ①で電力量に関するクレジットを選択した場合は、クレジットの換算電力量を入力してください。
- ④ ③で入力した換算電力量の単位をプルダウンリストから選択してください。プルダウンリストで選択できる単位の種類は、「kWh」、「千 kWh」です。

『報3』シート

6 再生可能エネルギー利用設備の稼働状況

6 再生可能エネルギー利用設備の稼働状況					
番号	設備機器の種類	導入年度	設備機器の性能	発電等の実績	単位
1	太陽光発電	2022年度	3ヵ所、総発電容量250kW	年間発電量：30万kWh	kWh
2		年度			
3	①	②年度	③	④	⑤
4		年度			
5		年度			

7 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の導入状況

7 次世代自動車（EV、PHV、FCV）及びハイブリッド自動車（HV）の導入状況							
種別	⑥	電気自動車	プラグインハイブリッド自動車	燃料電池自動車	ハイブリッド自動車	合計	保有割合 (第3号該当事業者)
保有台数	事業用	10	15	15	0	40	%
	自家用	0	0	0	0	0	
	軽自動車	20	0	0	0	20	
	合計	30	15	15	0	60	

【間違いやすいポイント】
保有していない場合は空欄にせず、「0(ゼロ)」を入力してください。

『報3』シート

6 再生可能エネルギー利用設備の稼働状況 **【該当ある場合は入力必要】**

『使用量1, 2』シート 自家発電(P16)に記載した発電実績の内訳を記載してください。

- ① 実施年度に導入済みの再生可能エネルギー利用設備機器の種類を、プルダウンリストから選択してください。

プルダウンリストで選択できる設備機器の種類は、次の表の通りです。

再生可能エネルギー利用設備機器の種類	
太陽光発電	地熱発電
風力発電	太陽熱利用
バイオマス	地中熱利用
水力発電	

※実施年度に稼働している設備であれば、計画期間以前に導入した設備機器も記載可能です。該当する設備が6種類以上ある場合は、実施年度に導入した設備を優先して記載してください。

- ② ①で選択した設備機器を導入した年度を入力してください。
- ③ ①で選択した設備機器の型式や定格能力などを入力してください。
- ④ 実施年度の発電又は生産熱量等の実績を入力してください。
稼働実績から算定される排出抑制効果を記載することも可能です。
- ⑤ ④で入力した実績の単位をプルダウンリストから選択してください。
プルダウンリストで選択できる単位の種類は、「kWh」、「千 kWh」、「MJ」、「J」です。

7 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の導入状況

【入力必要】

- ⑥ 昨年度情報を表示しています。変更がある場合は上書き修正してください。
3月31日時点で保有している次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)を、自動車種別に記入してください。
保有していない場合は、「0(ゼロ)」を入力してください。

2025年度の報告書より新たに追加された項目

- 種別:ハイブリッド自動車

変更された項目

- 保有台数の入力欄を細分化(自家用、事業用、軽自動車)

『報 4-1』シート

8の1 基本対策の実施状況(第1号及び第2号該当事業者)

細則第38号様式(第2条第49号)
(総括票)
8の1 基本対策の実施状況(第1号及び第2号該当事業者)

基本対策	対象設備	実施状況			
1 推進体制の整備		<input checked="" type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 非該当
2 エネルギー使用量の把握		<input checked="" type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 非該当
3 事務用機器の管理	事務用機器	<input checked="" type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 非該当
4 受変電設備の力率の管理	受変電設備	<input checked="" type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 非該当
5 照明設備の管理	年間2,000時間以上点灯する照明設備	<input checked="" type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 非該当
6 空調設備の管理	空調設備	<input checked="" type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 非該当
7 空調用冷凍機の管理	空調用冷凍機	<input checked="" type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 非該当
8 換気設備の管理	換気設備	<input checked="" type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 非該当
9 フィルターの清掃	空調設備 換気設備	<input checked="" type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 非該当
10 ボイラーの管理	ボイラー	<input type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input checked="" type="radio"/> 非該当
11 蒸気配管等の管理	ボイラー	<input type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input checked="" type="radio"/> 非該当
12 燃焼設備の空気比管理	ボイラー 工業炉	<input type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input checked="" type="radio"/> 非該当
13 ポンプ、ファン、ブロワー及びコンプレッサの負荷に応じた運転管理	ポンプ ファン ブロワー コンプレッサ	<input type="radio"/> 実施済	<input checked="" type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 非該当

8の2 重点対策の実施状況(第1号及び第2号該当事業者)

①

8の2 重点対策の実施状況(第1号及び第2号該当事業者)

重点対策	対策の内容	実施状況	備考
1 脱炭素経営に関する取組の実施	①SBT ②RE100 ③RE Action ④GXリーグへの参画 ⑤グリーン経営認証 ⑥その他横浜市が認めた脱炭素経営に関する取組 上記①から⑥のいずれかの取組に参画等している。	<input checked="" type="checkbox"/> SBT <input type="checkbox"/> RE100 <input type="checkbox"/> RE Action <input type="checkbox"/> GXリーグ <input type="checkbox"/> グリーン経営認証 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 未実施	
2 サプライチェーン排出量の削減計画の策定	①サプライチェーン排出量を算定している。 ②サプライチェーン排出量の削減目標を設定している。 ③サプライチェーン排出量の削減目標を達成するための施策を立案している。	<input type="radio"/> 実施済 <input checked="" type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施	
3 脱炭素に向けた調達方針の策定	①サプライヤーに対する調達方針を策定し、公表している。 ②サプライヤーに対する調達方針に沿って調達している。	<input type="radio"/> 実施済 <input checked="" type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施	
4 環境配慮製品・サービス等の開発・製造及び提供	①地球温暖化対策に寄与する環境配慮製品・サービス等の製造・提供等を行っている。 ② ①の製品・サービス等が地球温暖化対策に貢献できる二酸化炭素量を推計している。 ③地球温暖化対策に寄与する環境配慮製品等を研究・開発する事業に参画している。	<input type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input checked="" type="radio"/> 未実施	

『報 4-1』シート

8の1 基本対策の実施状況(第1号及び第2号該当事業者)

8の2 重点対策の実施状況(第1号及び第2号該当事業者)

- ① 対策ごとに、実施年度の実施状況を選択してください。
補足事項などございましたら備考欄に記入してください。

「1 脱炭素経営に関する取組の実施」でその他を選択した場合は、備考欄に参画等
をしている対策について記載してください。

状況の判断については、別途定める解説資料をご参照ください。

- ・基本対策解説 [「基本対策について」](#)
- ・重点対策解説 [「新たな重点対策について」](#)

※重点対策に関する根拠資料の提出は不要です。

2025年度に提出いただいた計画書の内容がシートの右側に表示していますので、
参考に実施状況を記入してください。

2025年度報告書より変更された項目

- 重点対策の項目を一新
- 従来の重点対策の名称を「基本対策」に変更

『報5』シート

9 地球温暖化を防止する対策の取組事例

細則第38号様式（第2条第49号）
 （総括票）
 9 地球温暖化を防止する対策の取組事例

番号	対策分類	具体的な取り組み事例
1	森林整備	神奈川県内に森林を保有し、持続可能な森林づくりを推進している。
2	地域貢献	上記の森林において、地域住民や学校と協力して植樹活動や自然観察会を行っている。
3	①	②
4		
5		

10 特記事項

10 特記事項

当社では、2050年を見据えた気候変動政策に基づき、2030年度までに温室効果ガス排出量を2013年度比30%以上削減します。2050年には「実質ゼロ」を目指し活動を推進していきます。 ③

『報5』シート

9 地球温暖化を防止する対策の取組事例

- ① 実施年度において実施した、地球温暖化を防止する対策の対策分類をプルダウンリストから選択してください。
プルダウンリストで選択できる対策分類は、次の表の通りです。

対策分類の種類	
省エネ(運用)	環境配慮製品・サービス
省エネ(設備)	社内環境研修
廃棄物	地域貢献
フロン	その他
森林整備	

- ② 実施年度において実施した、地球温暖化を防止する対策の具体的な取り組み内容を記載してください。特に具体的な削減量を記載できるような取組であれば、積極的にご記入ください。

10 特記事項

- ③ 必要に応じて、以下の内容を記載してください。
- (1) 貴社の環境に関する取組方針等
環境の保全に関する取組方針や社会貢献活動等について自由に記載することができます。
- (2) 提出済みの計画書及び報告書の変更内容
すでに提出済みの計画書や報告書に変更が生じた場合は、市の担当者との協議の上、変更内容を記載してください。

『報6』シート
個別票

細則第38号様式（第2条第49号）
（個別票）

地球温暖化対策実施状況報告書

1 事業所等の概要

事業所等の名称	〇〇事業所 ①				
事業所等の所在地	神奈川県横浜市〇〇区××町■-△ ②				
延床面積	25,000 ③ m ²	原油換算エネルギー使用量	4,488 ④ kl	事業所等の分区分	事務所 ⑤
エネルギー管理権限	全て有り ⑥	所有形態	所有（オ ⑦）		

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）		エネルギー消費原単位	
実施年度 （2025年度）	⑧ 9,140	t-CO ₂	89.36 ⑨	kl/ 百m ²

『報 6』シート

個別票

実施年度における原油換算エネルギー使用量が 500kL 以上の事業所ごとに作成してください。

※個別票は縦に配列しており、最大 40 事業所分の作成が可能です。

1 事業所等の概要

- ① 事業所等の名称は、『使用量 1,2 シート』の情報が反映され表示されます。**【入力不要】**
- ② 事業所の所在地を入力してください。**【入力必要】**
- ③ 事業所の総延床面積を入力してください。**【入力必要】**
- ④ 原油換算エネルギー使用量は、『使用量 1,2 シート』の情報が反映され表示されます。**【入力不要】**
- ⑤ 事業所の区分をプルダウンリストから選択してください。**【入力必要】**
プルダウンリストで選択できる項目は次の表の通りです。

事業所等の区分	
工場	商業施設
熱供給施設	宿泊施設
発電施設	医療施設
上水道・下水道施設	研究施設
廃棄物処理施設	教育施設
事務所	文化施設
事務所(電算施設)	倉庫
事務所(テナントビル)	その他

- ⑥ 事業所のエネルギー管理権限の有無をプルダウンリストから選択してください。**【入力必要】**
プルダウンリストで選択できる項目は、「全て有り」、「一部有り」、「無し」です。
- ⑦ 事業所の所有形態をプルダウンリストから選択してください。**【入力必要】**
プルダウンリストで選択できる項目は、「所有(オーナー)」、「賃借(テナント)」、「その他」です。

2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況**【入力不要】**

- ⑧ 特定温室効果ガス排出量は、『使用量 1,2 シート』から、実施年度における排出量が反映され表示されます。
- ⑨ エネルギー消費原単位は、『使用量 1,2 シート』の情報が反映され表示されます。

第4章 提出書の作成

『提』シート

細則第37号様式の2（第2条第48号の2）

地球温暖化対策計画書提出書兼
地球温暖化対策実施状況報告書提出書

（提出先）2026年 7月 30日
横浜市長

住所 神奈川県横浜市〇〇区××町■-△

株式会社 横浜
氏名
代表取締役社長 横浜 太郎

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例第144条第1項及び第2項の規定により、
別添の通り地球温暖化対策計画書兼地球温暖化対策実施状況報告書を提出します。

第5章 評価の確認

『評価』シート

評価結果

1 基礎情報

	事業者名 株式会社 横浜	区分	○	部門
評価対象	計画書	1、2号	○	業務部門
		3号	○	運輸部門

2 評価結果

【1、2号】

項 目		第一年度	第二年度	第三年度	目標年度 (2027年度)
計画書	削減目標の設定状況	基礎			B
		調整後			B
	基本対策の実施状況及び計画	-			A
	重点対策の実施状況及び計画	-			A+
報告書	排出量削減率	基礎			

『提』シート

報告書等に入力いただいた情報から自動作成されます。記入の必要はありません。【入力不要】

『評価』シート

入力いただいた報告書の評価を確認することができます。【入力不要】

第6章 作成したデータ等の提出

作成したデータ等を、横浜市電子申請・届出システムで提出してください。

以下の資料が対象となる場合には、添付資料として提出してください

- ・クレジット等の認証削減量の写し
- ・委任状(代表者と提出者が異なる場合※)

※前年度までに委任状を提出済で、代表者及び受任者に変更がない場合は提出不要

【提出先】

横浜市電子申請・届出システム

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/f8fd1056-e75a-489c-850a-d21bb7c278ec/start>



※電子申請システムで提出できない場合は個別にご相談ください。

連絡先: 横浜市 脱炭素・GREEN×EXPO推進局 脱炭素マネジメント課 計画書制度担当

電話番号: 045-671-4224

電子メール: da-keikakusho@city.yokohama.lg.jp

副本が必要な方は、所定額の切手を貼った返信用封筒を同封の上、紙媒体を窓口へ持参もしくは郵送してください。

非公表事項に関する取扱い（事前にご相談ください）

- 計画書等の記載内容で、公表することにより、事業者の競争上の地位その他正当な利益を害するおそれのある事項が含まれる場合については、非公表とする旨を市に請求することができます。
- その請求に関して市が妥当と認めた場合に、当該事項を非公表とします。